

経営比較分析表（令和元年度決算）

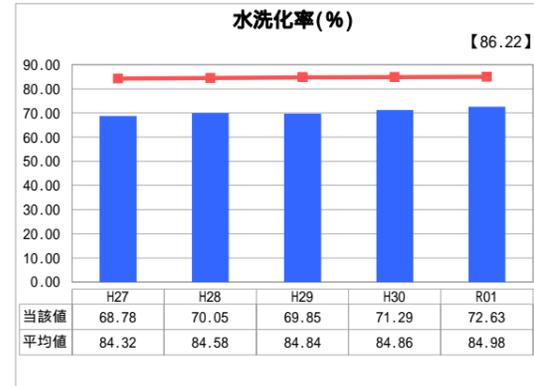
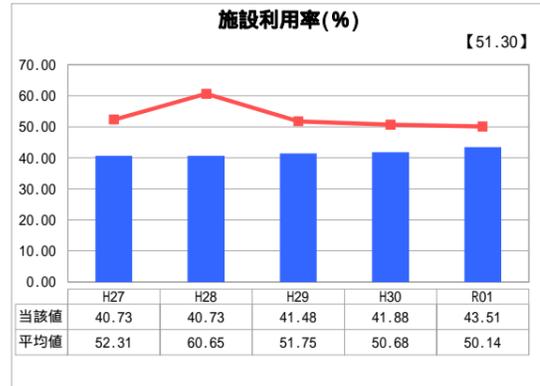
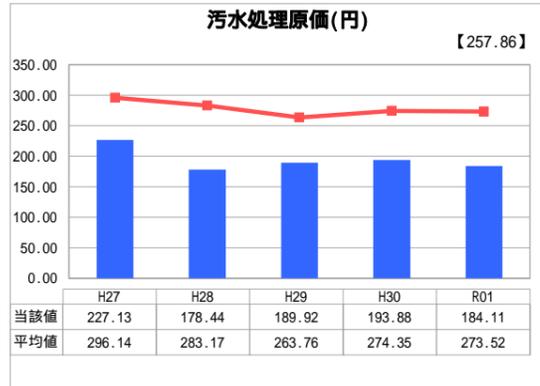
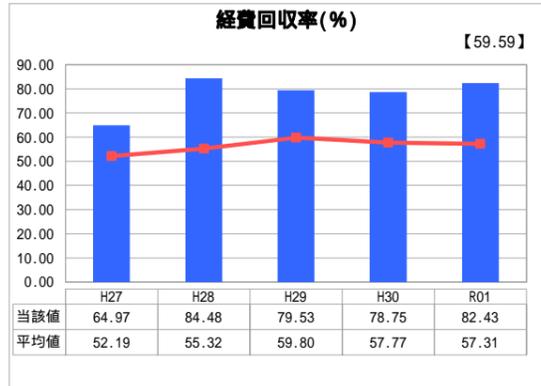
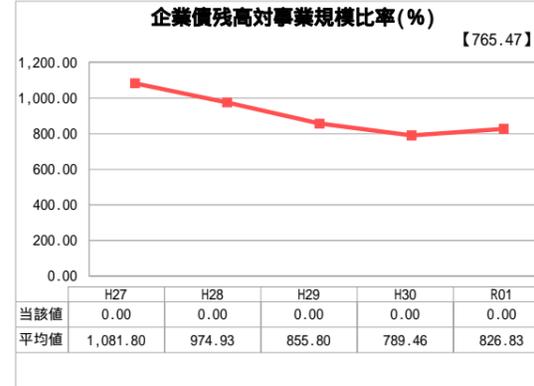
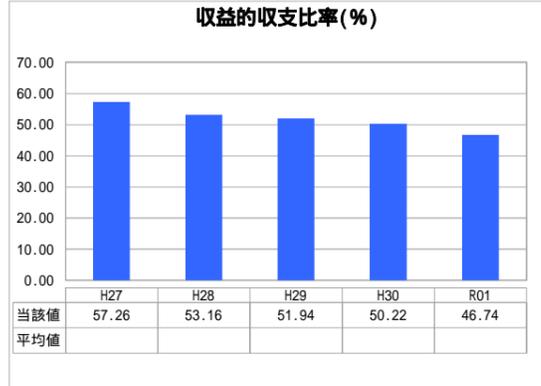
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	49.31	100.00	3,741

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,205	33.41	335.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,507	2.82	1,952.84

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率
施設の老朽化が進み、維持管理費が年々増加していることから、前年度に比べ収益的収支比率はわずかに減少している。経年比較では平成28年度以降減少傾向となっていることから、使用料収入の確保等の経営改善に向けた取組みが必要である。

企業債残高
地方債残高の全てが一般会計負担額のため、当指標は0となっている。

経費回収率
前年度に比べ料金収入が微増したため、経費回収率は増加している。しかし、経費回収率は依然として100%を下回っていることから、未接続世帯への加入促進や料金改正の検討等使用料収入の確保に向けた取組みが必要である。

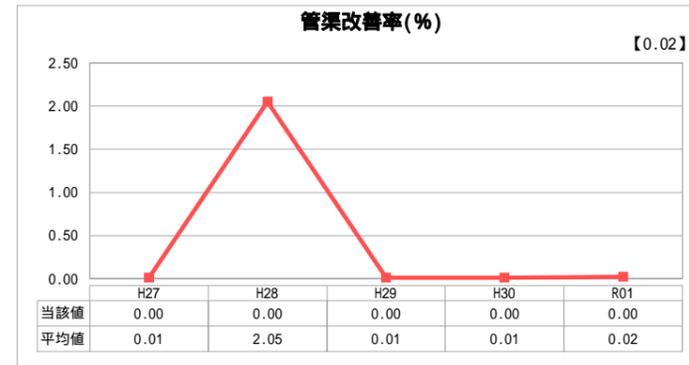
汚水処理原価
前年度に比べ年間有収水量が微増したため、汚水処理原価が減少している。今後も未接続世帯への加入促進等により有収水量の確保に向けた取組みが必要である。

施設利用率 水洗化率
類似団体と比較するといずれも低い数値となっている。今後も引き続き通知文書の送付等により未接続世帯への加入促進を行い、施設利用率及び水洗化率の増加に向けた取組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

美里町の農業集落排水事業は平成7年度に十条処理区、小栗処理区、平成9年度に広木処理区、平成10年度に沼上処理区、円良田処理区、平成16年度に駒衣処理区、平成25年度に南部中央処理区が完成し、全7処理区が供用開始となっている。すでに半数以上の処理区が供用開始から約20年経過しており、施設の老朽化により維持管理費、修繕費が増加傾向にある。機能診断や最適整備構想を基に、施設の公共下水道への接続や施設の統廃合を検討するほか、適正な機能保全を行い、既存施設の長寿命化に努め、維持管理等に要する費用の削減を目指す。

2. 老朽化の状況



全体総括

類似団体と比較して施設利用率・水洗化率が低いことから、未接続世帯への加入促進等による接続率の向上及び料金改正の検討等使用料収入の確保に向けた経営改善の取組みが必要である。

また、施設の老朽化や将来人口の推移を踏まえ、計画的な施設修繕や処理区の統廃合等を検討し、効率的な事業運営を目指す。